

## トピックス

## 1 長崎から2つの世界遺産を

## (1) 世界遺産「明治日本の産業革命遺産」製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業



端島炭坑(長崎市)

「明治日本の産業革命遺産」は、幕末からわずか半世紀の間に、造船、製鉄・鉄鋼、石炭産業といった重工業分野において急速な産業化を成し遂げ、西洋地域以外で最初に産業国家へと至る道のりを示す遺産群です。構成資産は8県11市に所在し、長崎県には造船、石炭産業に関する8つの資産があります。

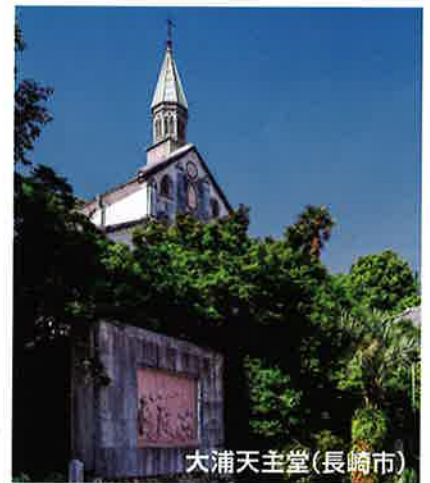
2014年1月に国からユネスコへ推薦書が提出され、2015年5月にはイコモス(国際記念物遺跡会議)から世界遺産一覧表への「記載」勧告がなされ、2015年7月に世界遺産に登録が決定されました。



## (2) 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、キリスト教が禁じられている中で長崎と天草地方において、日本の伝統的宗教や一般社会と共生しながら信仰を続けた潜伏キリシタンの信仰継続にかかわる伝統のあかしとなる遺産群です。それらは、潜伏キリシタンの伝統の始まりからその形成、維持、拡大の段階を経て、新たな信仰の局面の到来によって伝統が変容し、終わりを迎えるまで、潜伏キリシタンの伝統の歴史を語る上で必要不可欠な12の資産で構成されています。

2018年の世界遺産登録を目指しています。

大浦天主堂(長崎市)

## 2 新県庁舎



平成26年12月から建設を進めていた新県庁舎が、平成29年11月末に完成し、12月24日に落成記念式典を開催しました。高田元知事や金子前知事をはじめ、本県選出国會議員や県議會議員、関係者の方々など約370名が出席して完成を祝いました。

新庁舎は長崎港を一望できる展望室を設けるなど、県民の皆様の憩いや交流、協働の場として



気軽に利用できる庁舎となっていますので、ぜひ足をお運びください。

## ○開館時間

平日：7時～21時

休日：9時～21時